



公益財団法人
福岡アジア都市研究所

福岡市のシンクタンクが 九州大学でセミナーを開催します！！

(で、「シンクタンク」って、何？)

(公財)福岡アジア都市研究所(URC)は、福岡市役所のシンクタンクとして、都市政策に関する調査研究や国内外各都市の情報収集・分析などを行っています。
今回のセミナーでは、URCがこれまで行った「総合研究」をとおしての福岡市との関わりや、各種データをもとに福岡市の特徴や国際都市の中での立ち位置などについて、説明します。研究所の役割や活動内容から、福岡市という「まち」についての理解を深め、これからの研究活動などにお役立て頂ければと思います。
皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時 令和7年7月18日(金) 13:00~14:30
会場 イーストゾーン1号館B棟102教室
参加費 無料(定員30名)

プログラム

- ・「URC」って何？(概要説明)
- ・研究所と行政の関わり ~ 総合研究「ウェルビーイング」をとおして ~
- ・データで見る福岡市の特徴と国際プレゼンス
- ・質疑応答・意見交換

URC説明者

情報戦略室長 畠山 尚久 研究主査 山田 美里

事業支援係長 山下 晶弘

ここから
お申込み下さい。



申込方法

7月16日(水)までに右の二次元コードから登録をお願いします。

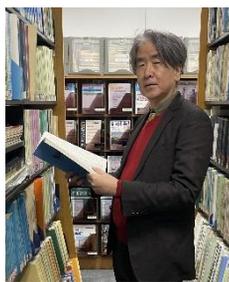
お問合せ

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-8-1 博多区役所10F
公益財団法人福岡アジア都市研究所 山下

TEL: 092-710-6431 Mail: info@urc.or.jp URL: <https://urc.or.jp/>

| 主催 公益財団法人福岡アジア都市研究所 | 共催 九州大学人社系協働研究・教育コモンズ
| 後援 九州大学大学院人間環境学研究院 多分野連携プログラム「都市の生態学」

URC 研究員紹介



情報戦略室長 畠山 尚久 (はたけやま なおひさ)

20年以上、民間企業においてマーケティング・リサーチやシンクタンク業務に携わる。データ分析やマーケティングを専門とし、データ分析を中心とした情報発信の他、天神ビッグバンや世界水泳などの経済波及効果算出、福岡市の将来人口推計、福岡市からの受託事業に携わるなど、施策立案・推進を支援する「福岡市のデータ分析のスペシャリスト」。



研究主査 山田 美里 (やまだ みさと)

5年間のカナダ留学・就労を経て、外資系ITベンチャー企業にてアプリ開発に携わる。2012年よりURC情報戦略室の研究スタッフとして、福岡の都市データおよび国際競争力比較分析調査に従事。2016-2019年、駐日英国大使館 英国政府福岡地域代表。2020-2021年、ヘルシンキ・ビジネスハブ（現・ヘルシンキ・パートナーズ）九州・福岡地域担当窓口。2022年4月より現職。市民のウェルビーイングに関する調査研究、世界漏水率調査、地域の魅力再認識に関する研究などに携わる。

URC 刊行物紹介



「第3極」の都市2025 – Global City Status

福岡と類似性を持ち先進性を有する9つの国際都市(*)を都市の成長と生活の質に関する指標で比較し、福岡の世界的な位置を明らかにしたレポート

*シアトル、バンクーバー、メルボルン、ミュンヘン、バルセロナ、ストックホルム、ヘルシンキ、釜山、福岡

ダウンロード
はこちら
↓



FUKUOKA GROWTH 2024

住みやすさと高い成長性が両立する福岡市の成長性を、人口集中・生活の質・都市の成長の視点でデータ分析したレポート



総合研究報告書

「福岡市のまちづくりに寄与」及び「アジア地域への協力・貢献」の観点から、都市政策の立案につながる調査研究を行った報告書

●2024年度

「市民と企業の脱炭素型ライフスタイル：

ゼロカーボンシティ福岡へ向けた行動変容に関する研究」

福岡市2040年カーボンニュートラルの実現に向けて実施した、市民と企業の脱炭素行動に関する研究。市民に関しては、住む、働く、学ぶ人を対象に環境に関するアンケートとインタビューを実施し、脱炭素行動に関する考えやライフステージ毎の傾向を明らかにした。企業に関しては、市内事業所数の9割を占める中小企業を中心に、様々な統計データやアンケート結果の分析、関係機関へのインタビューを実施し、事業活動における脱炭素行動の現状と課題を明らかにした。

ダウンロード
はこちら
↓



●2022年度～2023年度

「ウェルビーイング ～新たな都市の評価に関する研究Ⅰ・Ⅱ～」

人々の価値観の転換や多様化等を背景に、求められる都市像が変化する中、主観的評価を重視する「ウェルビーイング」という概念に着目し研究。ウェルビーイングの定義づけを行うとともに、福岡市民及び福岡市に通勤・通学する人のウェルビーイングの現状や規定因等を把握するためのアンケートを設計・実施。また、アンケートの分析結果から、ウェルビーイング実現に影響する要因や、ウェルビーイングを政策や行政計画に取り入れる意義や手法を明らかにした。

